

令和8年度 第1学期始業式 式辞

みなさん、おはようございます。そして、進級おめでとうございます。

今日から新しい学年での生活が始まりますね。さて、令和8年度（2026年度）を迎えた今年、私たちの新庄北小学校は、とても大切な大きな節目を迎えます。それは、「創立50周年」です。50年前、この学校が生まれたときから、2000人以上のたくさんの卒業生がこの校庭で遊び、この教室で学んできました。そのバトンがいま、みなさんの手に渡されています。



▲着任式の様子

昨年度、始業式で『自分から』という話をしました。昨年度末に先生方にアンケートを取ると、自分から委員会活動や学級活動など、積極的に活動していた人が多くなりましたが、続けていく「粘り強さ」や自分の行動や感情をコントロールし目標に向かっていく「自己調整力」や自分からいろいろな人の意見や考え方を取り入れて行動する「協働性」が少し弱いという結果が出ました。その粘り強さや自己調整力、協働性を身に付けるために、この記念すべき1年を過ごすみなさんに、校長先生から大切にしてほしい言葉を贈ります。

それは、『共創（きょうそう）』という言葉です。「共に創ろう」です。

1. 「共創」ってどんな意味？

「共創」とは、「共に（いっしょに）」「創る（つくる）」と書きます。これまでのみなさんは、先生から教わったり、決められた行事に参加したりすることが多かったかもしれませんが、でも、50周年の今年は少し違います。どんな50周年にしたいか？どんな新しい「新庄北小」を見せたいか？これらを、先生や地域の方々、そして何よりみなさん自身がアイデアを出し合い、いっしょに形にしていくこと。それが「共創」です。「共に創ろう」です。



▲始業式の様子

2. 一人ひとりが「物語の主人公」

50周年をお祝いするのは、大人の人たちだけではありません。あなたたち一人ひとりが「50年目の新庄北小」という物語を創る主人公です。笑顔いっぱいの挨拶で明るい学校を共に創ろう。失敗を恐れず何事にも一生懸命挑戦して、活気のある学校を共に創ろう。リーダーとしてみんなの意見をまとめ、最高の思い出ができる学校を共に創ろう。一人ひとりの力が合わさったとき、一人では絶対にできない、素晴らしい「共創」が生まれます。それは、学年や学級、委員会活動やチャレンジ班活動などでも発揮できます。

3. 未来へつなぐ「北小プライド」

50年前から続く伝統を大切にしながら、みなさんの新しい発想で、次の50年へ続く「新しい新庄北小学校」の第一歩を創り出しましょう。「あんなこともやってみたい!」「こんな学校にしたい!」そんなワクワクするアイデアを、ぜひ校長先生や担任の先生に教えてください。今日からの毎日を、みんなで楽しみながら「共に創って」いきましょう。一年間、どうぞよろしく申し上げます。



▲担任発表の様子

保護者の皆様へ

『共創』...これは子どもたちだけに贈った言葉ではありません。教職員、地域の皆様方、そして保護者の皆様方と、共に未来の新庄北小学校・附属幼稚園を創りたいと思っています。

- ◎児童一人ひとりに「安心の居場所」があり、笑顔と活力にあふれる学校にしたい!
- ◎地域と共創し、社会参画の意識を育む特色と魅力のある学校にしたい!
- ◎家庭・地域・専門機関と密に連携・協働し、安全で安心な学びを保障する学校にしたい!

子どもたちと共にそんな学校を創っていきましょう!!よろしくお願ひ致します。

校長 中川 純一



▲2026年度 新庄北小学校教職員

このメンバーで1年間よろしくおねがいいたします